

第3章 教育・文化

—豊かな人間性を育む教育・文化・スポーツの振興—

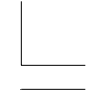
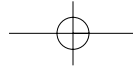
少子高齢化、高度情報化、グローバル化^{*}の進展などによって、余暇時間の増大やライフスタイルの変化とともに、個性や多様な価値観が重視されるようになってきたことで、自己実現への欲求が高まり、一人ひとりの将来に対する可能性も広がっています。そのため、あらゆる世代の人々が、心身ともに健康で、生涯を通じて学ぶことのできる仕組みづくりが求められています。また、松山固有の歴史文化を認識し、誇りに思い、育みながら、次代に向けた新たな文化を創出することが求められています。

そこで...

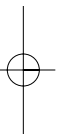
すべての市民が生き生きとした生活を送るために、生涯を通じてだれもが学び、参加できるよう、それぞれのニーズに合った学習・文化活動やスポーツ・レクリエーション活動の充実を図ります。

松山の未来を担う子どもたちの個性を伸ばし豊かな人間性を養うとともに、たくましく生きる力を育むため、学校教育の充実や地域の教育力の向上に努め、学校・家庭・地域が、それぞれ役割を分担しながら連携協力して、子どもたちの心身ともに健全な育成をめざします。

世界の距離感が縮まる中で、国境を越えてお互いを理解し、受け入れるため、一人ひとりが国際感覚を身につけることや幅広い国際交流をめざします。

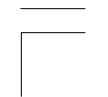
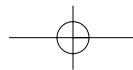


教育・文化



※グローバル化

高速交通体系や情報通信ネットワークの発展を背景に、人や物の交流や情報の流れが国境を越えて全世界的に広がること。



第3章 教育・文化 第1節 生涯を通じていきいきと学びあい教えあ

生涯を通じた学習機会の充実

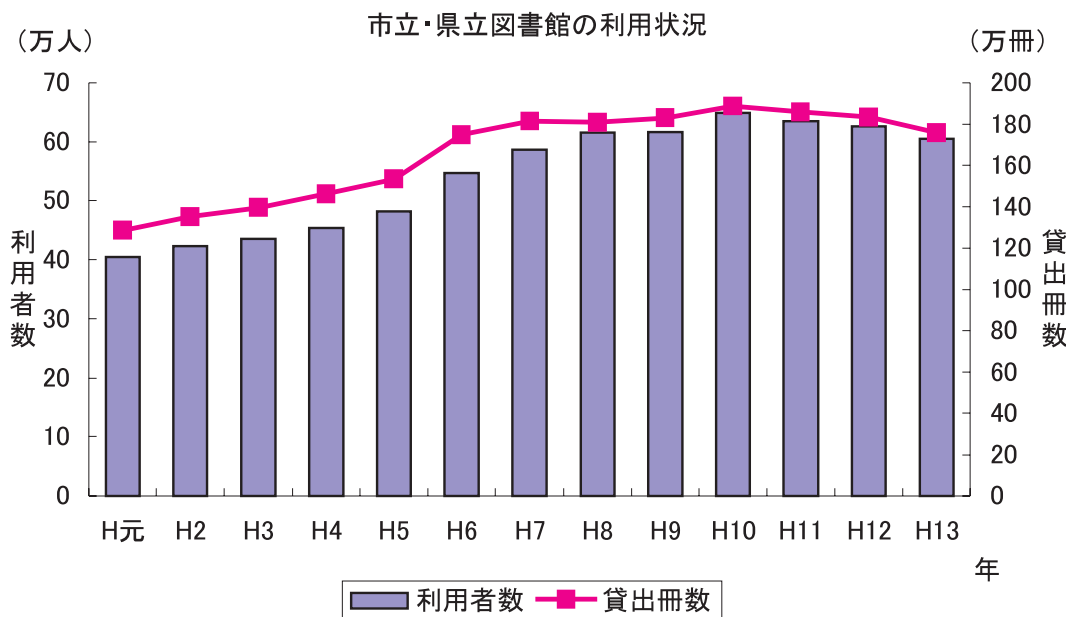
【基本的な考え方】

少子高齢化や高度情報化の進展、生活水準の向上や余暇時間の増大といった社会変化に伴って、個人の生きがいづくりへの志向や積極的に自らを高めていこうとする傾向が強まっており、生きる喜びが実感できる生涯学習への欲求が高まっています。

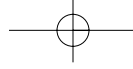
本市では、公民館単位での学習活動の推進や生涯学習施設の整備などを進めてきましたが、今後は、人生80年時代にふさわしい、より幅広い取り組みが必要になっています。

そこで、あらゆる年齢層が主体的に学習活動に参加できるよう、学習メニューを充実することや学習を通じて獲得した成果を地域社会に生かせる仕組みづくりに取り組んでいきます。

教育・文化



資料：市立中央図書館、市立三津浜図書館、県立図書館



う場をつくる

施策の概要

多様な学習機会の提供 3111

多様な生涯学習ニーズに応じた学習機会の拡充や情報提供を推進します。

- (主な内容)
- ・学習機会の拡充
 - ・指導者の育成
 - ・学習情報の提供
 - ・生涯学習団体の育成
 - ・公民館での学習活動の充実

学習環境の整備 3112

関係機関との連携を図りながら、生涯学習の場を整備します。

- (主な内容)
- ・公民館や図書館などの学習施設の整備充実
 - ・IT※を活用した生涯学習の促進
 - ・教育情報ネットワークの整備

学習成果の活用 3113

学習成果を地域社会に還元したり、発表する機会を充実します。

- (主な内容)
- ・学習成果を生かす機会や場の提供
 - ・指導者バンクの活性化
 - ・生涯学習リーダーの育成・活用

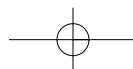
【指標と目標】

指 標	現状値	目標 (H24)
市立図書館の市民一人当たり図書貸出し冊数	3.5冊 (14年度)	4.5冊
松山市指導者バンク登録者数	542人 (14年度)	1,000人

中央図書館、三津浜図書館、移動図書館（車両4台）を合わせると年間167万冊（H13年度）の利用があります。

松山市生涯学習振興財団の指導者バンク登録者数

※IT
(=Information Technology) 情報通信技術。



第3章 教育・文化 第1節 生涯を通じていきいきと学びあい教えあ

地域で取り組む青少年の健全育成

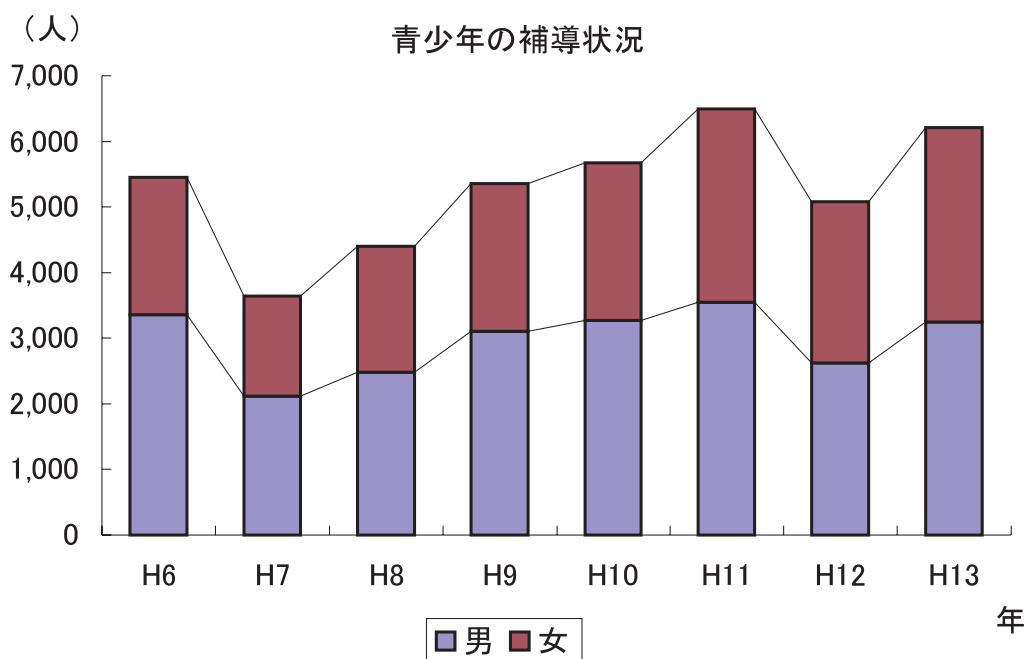
【基本的な考え方】

次代を担う青少年が、社会の一員としての自覚を持つことや他人を思いやる心を養いながら成長できる環境を、地域全体でつくっていくことが求められています。

さらに、学校完全週5日制の導入によって、青少年の健全育成における家庭や地域の役割は、ますます大きくなっています。

そのために、学校と家庭、地域がいっそう連携を深めながら、地域全体で青少年を育てるという意識を醸成し、豊かな心とたくましさを育むさまざまな体験活動を促進するなど、青少年を健全に育てていくための取り組みを進めていきます。

教育・文化



資料: 少年補導センター



う場をつくる

施策の概要

地域教育力の向上

3121

学校、家庭、地域が協力して子どもを育む環境づくりを進めます。

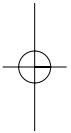
- (主な内容)
- ・育成意識の醸成
 - ・青少年団体の育成
 - ・指導者の養成
 - ・相談や補導活動の充実

体験活動の促進

3122

地域社会と連携しながら、豊かなたくましさを育む体験活動を充実します。

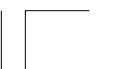
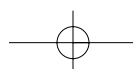
- (主な内容)
- ・自然・社会体験活動の充実
 - ・体験活動を促すための情報提供や体制整備



【指標と目標】

指 標	現状値	目標 (H24)
松山市野外活動センターの利用者数	130,573人 (14年度)	160,000人

野外活動センター（菅沢町）は、四季折々の自然の中で、あらゆる世代が野外活動を楽しめるように、体育館や運動場、宿泊施設、キャンプ施設などさまざまな機能を備えています。



第3章 教育・文化 第2節 生きる力を育む教育を推進する

一人ひとりの可能性を引き出す教育の充実

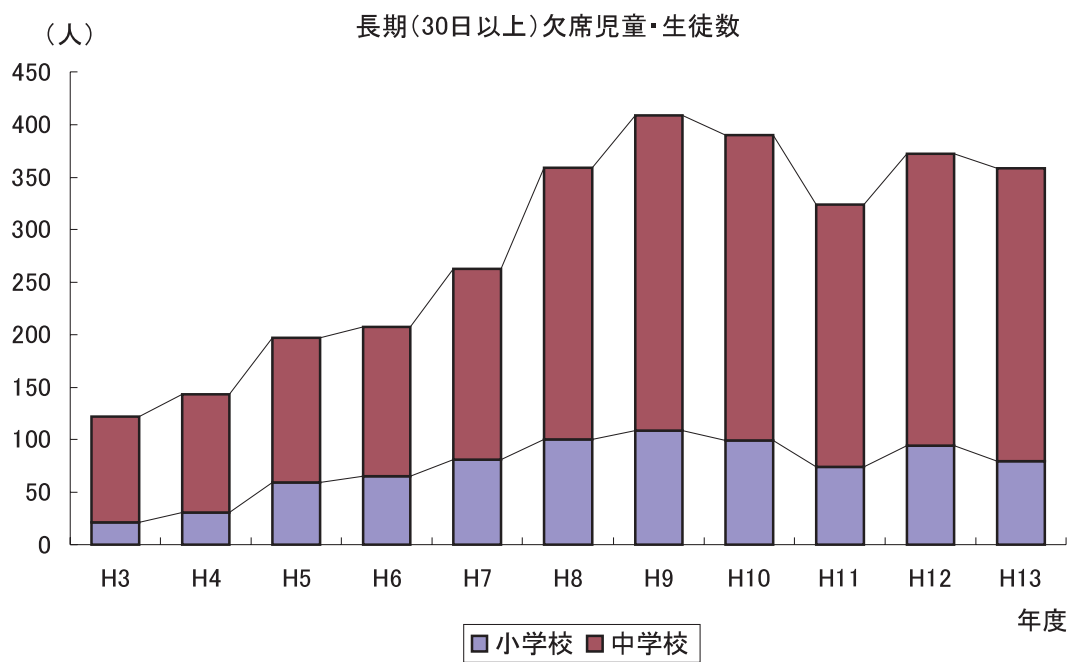
【基本的な考え方】

学校教育は、生涯にわたる学習活動の基盤であり、子どもたちが社会の一員として次代を担っていくためには、自ら学び、自ら考える力の育成や、たくましく生きていくための健康や体力を育むことなどが求められています。

しかし、都市化や核家族化などによって教育現場を取り巻く状況は変化しており、いじめや不登校など多くの問題が生じています。

そのため、基礎・基本となる学力の向上や、自ら課題を解決していく力、自ら学ぶ意欲や態度、豊かな人間性や社会性などの生きる力を養成するために、一人ひとりの可能性を引き出す教育を推進していきます。

教育・文化

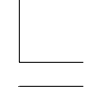
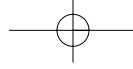


※ドリームプラン

各学校の特色づくりを推進するため、各学校長の教育理念に基づく教育方針を打ち立て、各学校で児童生徒や地域の実情を踏まえ、創意工夫を生かした教育活動を展開するための計画をさし、市はこの計画実施のための支援を行う。

※学校生活支援員

肢体不自由・難聴・外国人子女等の学校での移動や学習などの学校生活を支援するために配置している者。



施策の概要

基礎・基本を育む教育の推進 3211

一人ひとりの能力や学力に応じたきめ細かな指導を充実します。

- (主な内容)
- ・指導方法の充実
 - ・情報、環境、国際理解教育の充実
 - ・幼児教育の充実

心と体の健康教育の推進 3212

豊かな心やたくましい体を育成する機会を充実します。

- (主な内容)
- ・体験活動の充実
 - ・生活指導・相談の充実
 - ・道徳教育の充実
 - ・健康教育の充実
 - ・学校給食の充実

特色ある学校づくり 3213

自主性、自律性に基づいた特色ある学校づくりを推進します。

- (主な内容)
- ・ドリームプラン※の推進
 - ・通学区域の弾力化
 - ・小中一貫教育への取り組み

特殊教育の推進 3214

一人ひとりの障害の程度に応じた教育を推進します。

- (主な内容)
- ・就学相談の充実
 - ・関係機関との連携推進
 - ・学校生活支援員※の充実

教職員の資質向上 3215

豊かな教養や専門的知識、指導力の向上を推進し。

- (主な内容)
- ・研修の充実
 - ・研究会の充実

【指標と目標】

指 標	現状値	目標 (H24)
長期欠席児童の割合	小学校0.29%、中学校 1.92%(13年度)	小学校0.06% 中学校0.54%

30日以上長期欠席をしている児童生徒の割合

